

症例集 - 北米式歯内療法 + セレッククラウン治療

治療前



治療後



年齢・性別	50代、女性
主訴	クリーニングがしたい。
治療法	セレッククラウン治療
治療期間	北米式歯内療法は、通常ですと3回で終了します。 (状況によって異なります) 被せ物の型取り→約1週間→試し合わせ→約1週間 →装着来院回数：最低6回
治療の説明	北米式歯内療法では、唾液が中に入って細菌感染しないように、ラバーダムというゴムのバリアで歯を隔離して、治療をします。虫歯や怪我で欠けた歯をセラミックの材料で治療する方法です。天然の歯の色に近づけられる、金属を使用しないので、体への害が少ない、表面がつややかで、歯垢がつくにくいなどのメリットがあります。表面に着色しにくい。

治療のリスク	歯を削る必要があり、神経を取ることもあります。 陶材のため欠ける、破損する恐れがあります。	
メリット		主なデメリット・副作用
・透明感がある ・自然の歯の形態に近い ・変色がない ・適合が良い ・アレルギーが少ない ・機械で作るので比較的安価		・金属に比べ、欠ける可能性がある ・費用がかかる

治療費用	115,000 円 (税込)
------	-----------------------